



4 疫学／ 保健統計

<執筆者一覧>

尾島俊之	浜松医科大学教授
村山洋史	東京都健康長寿医療センター研究所研究副部長
菊池宏幸	東京医科大学講師
原岡智子	
片岡葵	大阪医科大学研究支援センター／東京医科大学
清原康介	大妻女子大学准教授
堀芽久美	国立がん研究センターがん対策情報センター
柿崎真沙子	名古屋市立大学大学院講師／ 医療人育成支援推進センター特任講師
福井敬祐	広島大学准教授
細川陸也	京都大学大学院講師
伊藤ゆり	大阪医科薬科大学研究支援センター准教授
町田征己	東京医科大学講師／東京医科大学病院講師

ポイント

- 保健師活動において重要な疫学・保健統計について、キャラクターとともに実践形式で読み進めるように構成しました。
- ▶江木楽町（えきがくちょう）という架空の町で、新人保健師の**アユミとススム**を通して、現場でどのような仕事が行っているのか、疫学や統計がどのように生かされるのかを具体的に解説していきます。

ページ見本

江木楽町 アユミとススムの保健統計

江木楽町では新しい町長が就任し総合計画を刷新することになり、ススムは保健分野の地域診断等を担当することになった。一方で、アユミは東桂保健所のなかで、江木楽町の市町村支援担当となった。総合計画策定のために、分析の方針を決めて、江木楽町と東桂保健所がもっている統計資料を集め始めた。

アユミとススムの疑問①



ススム

江木楽町民の健康度を知る統計資料かあ。何があるかな?出生・死亡は届け出がなされているから、その集計はあるけど、これが多いのか少ないのかわからないなあ。



ススム

へえ。どこからデータを得たのだろう。



アユミ

そういえば保健所で、管内の市町村の死亡率を比べたグラフを見たことがある。ほら、コレ。



アユミ

えーっと、出典が「人口動態統計」って書いてある。保健所業務の一つだね。そういえば担当者が「各市町村から送られる死亡票を見て、ICD(死因分類)別に集計する」って言っていたよ。それで管内の健康度を分析するみたい。

1章 地域診断の基本統計

- 1 基幹統計とその種類
- 2 人口静態統計と人口動態統計統計
- 3 疾病・障害の定義と分類
- 4 疫学の定義

2章 地域診断の分析

- 1 割合と率
- 2 活用可能なデータベースの基本
- 3 質的データの活用, 混合研究法

3章 人口構成の違い

- 1 層化
- 2 年齢調整
- 3 層化と標準化のまとめ
- 4 交絡と交絡因子
- 5 制限

4章 出生制限と寿命

- 1 人口動態統計の基本と動向
- 2 平均寿命と健康寿命
- 3 疾病・障害の定義と分類

5章 傷病発生の要因

- 1 曝露と疾病発生
- 2 がん
- 3 心血管疾患 (高血圧を含む)
- 4 脳血管疾患
- 5 糖尿病
- 6 栄養・食生活
- 7 活動・運動
- 8 休息・睡眠
- 9 飲酒
- 10 喫煙
- 11 その他の疾患

6章 全国と地域の状況

- 1 基幹統計の基本と動向
- 2 基幹統計以外の基礎的な統計調査の基本と動向
- 3 疾病登録の意義

7章 実態調査

- 1 母集団と標本抽出
- 2 誤差（バイアス・偏り）
- 3 データの種類と分布
- 4 測定と尺度

8章 実態調査の分析

- 1 代表値と散布度
- 2 適切な図表の作成と活用
- 3 情報処理の基礎

9章 要因分析

- 1 調査方法（研究デザイン）
- 2 相対危険
- 3 関連の指標
- 4 交絡とその制御方法

10章 偶然誤差の分析

- 1 主な確率分布
- 2 統計分析
- 3 多変量解析

11章 政策のための分析

- 1 寄与危険
- 2 社会疫学
- 3 政策疫学

12章 事業の効果

- 1 介入研究の設計
- 2 精度の高い成果を得るために
- 3 因果関係

13章 感染症

- 1 感染症の基礎知識
- 2 感染症のアウトブレイク発生時の疫学調査
- 3 感染症発生動向調査、食中毒統計調査
- 4 主な感染症の特徴と最近の動向
- 5 その他の感染症

14章 スクリーニング

- 1 スクリーニングの目的
- 2 スクリーニングの要件
- 3 検診のマネジメント(質保証・精度管理)
- 4 公平な検診実施(受診率向上に向けて)

15章 研究への発展

- 1 研究とは
- 2 研究の進め方